

事業報告

令和4年度 学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業
「九重町とのプログラム協同実施」

日時：令和4年8月17日（水）

会場：九重文化センター 参加者：6名（4市） 小学生：10名

<研修趣旨>

「おおいたを知る・おおいたを学ぶ・おおいたを体験する」ことのできる小学生向けの各種体験プログラムを多様な経験や技能をもつ外部団体と連携して開発・実施し、併せて市町村へのプログラムの紹介・普及を図る。

<研修内容>

【第1部】▼「九重の自然を活かして創造する体験活動」プログラム見学

協力団体：おもてなし体験 : 九重悠々亭
: ゲームデザイン創作体験 : Summer Time Studio
: ブッシュクラフト体験 : ブラックパイン・ブッシュクラフト・スクール

今回のプログラムは、九重町の自然や社会環境を活かして経営や活動をされている企業・団体の協力をいただき、「おもてなし」「ゲームデザイン」「ブッシュクラフト」の3つの創造的な体験活動を準備し小学生が選択できるよう企画していただいた。協力団体には単に体験活動を指導するだけではなく、地域の特色を活かして活動するよさを小学生が学び、地元のよさを意識できるように指導していただいた。

新型コロナウイルス第7波の中、小学生は少人数の参加ではあったが、危険防止、感染防止に配慮して、一人一人にきめ細かく対応して、子どもたちが安心して活動できた。



【主催者あいさつ】
大分県立図書館 副館長兼学校・地域支援課長 矢野 修



【第1部】「おもてなし体験」
九重悠々亭



【第1部】「ゲームデザイン創作体験」
Summer Time Studio



【第1部】「ブッシュクラフト体験」
ブラックパイン・ブッシュ・クラフト・スクール

【第2部】▼協力団体との協議・意見交換

協力団体の代表から今回実施したプログラム及びその他実施可能なプログラムについて説明していただいた。その後、質疑・意見交換を行った。ブッシュクラフト体験については、今回のように室内で安全配慮を十分に行える状況での実施については賛同が得られた。また、小学生を対象とした体験活動を実施する際に、地域の企業・団体の選定方法や、実施の際の「学びの未来」創造事業の予算執行についての質疑応答が行われ、短い時間であったが有意義な協議となった。



【第2部】
協力団体との協議



<参加者感想>

- 地元の企業の方々に協力していただき、地元を知るよい機会だった。
- おもてなし体験は、少ない人数の中で色々と話をしていて、子どもも最後は元気な声で答えてよかった。
- ゲームやプログラミングに興味を持って、いろんな事に挑戦してもらいたい。
- 第2部の意見交換は人数の割に比較的多かったと思う。
- 少人数であったが一人一人に目が行き届いていて、子どもたちにとってもよかったのではと感じました。
- 参加者が少なく、もっと関係者が参加できるようにならないだろうか。もったいない。